

子どもの学び 研究開発指定校 研究報告

新富町立 富田小学校

令和6年 2月13日(火)

ひなたの学びフェス 宮崎大学



新富町立富田小学校

| | |
|-----|------|
| 児童数 | 598名 |
| 職員数 | 53名 |

子どもの学び研究開発指定校

目的

- ① 学校の課題解決
- ② 学力向上
- ③ 働き方改革

研究主題

児童も教師も楽しく学び、共に成長できる学校づくり

～児童の学力向上と教職員の働き方改革の取組を通して～

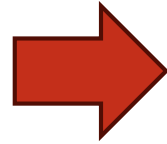
研究仮説

児童に必要な力を高める授業改善の視点を基本とした授業を展開する中で、

- 個別最適な学びと協働的な学びの充実につなぐ
ICT活用能力の育成
- 特別支援教育の手立ての工夫
- 教材の共有による教師の作業効率の向上 を行えば、
学力が向上し、児童も教師も楽しく学び、共に成長できる
学校づくりができるであろう。

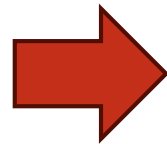
本校の児童に 今 必要な力

聞く力



- 見通しをもって
- 自分の考えと比較して

表現力



- 自分の言葉で
- 理由・根拠を明らかに
して

目指す児童の姿

| | 低学年 | 中学年 | 高学年 |
|-----|---|---|--|
| 聞く力 | <ul style="list-style-type: none">・ 相手を見て最後まで聞くことができる。 | <ul style="list-style-type: none">・ 相手の伝えたいことを理解し、自分の考えと比較しながら聞くことができる。 | <ul style="list-style-type: none">・ 自分の考えと比較しながら相手の話を聞き、考えや活動の見通しをもって聞くことができる。 |
| 表現力 | <ul style="list-style-type: none">・ 相手に自分の考えを伝えることができる。 | <ul style="list-style-type: none">・ 自分の考えの結論を述べた後、理由を述べてわかりやすく伝えることができる。 | <ul style="list-style-type: none">・ 自分の考えの結論を述べた後、その根拠となる資料を提示しながら説明することができる。 |

成果指標【低学年児童用】

観点

【3】 聞く力

【4】 表現力

【6】 個別最適な学び
協働的な学び

一部抜粋

【具体的な内容】

算数の授業中、先生や友だちの話を聞いていますか。

【具体的な内容】

算数の授業中、自分の考えを言った後、理由を説明することができますか。

【具体的な内容】

算数の授業中、先生や友だちに自分の考えを言ったり、先生や友だちの話を聞いたりすることができますか。

成果指標 【教師用】 一部抜粋

観点 (働き方改革に関する内容)

- 【1】 意識【働きがい・負担感の軽減】
- 【2】 勤務時間【効率化・確保】
- 【3】 業務改善
- 【4】 ワークライフバランス

【具体的な内容】

- ①教材研究・学級事務の時間
- ②児童に対する個別指導・教育相談の時間

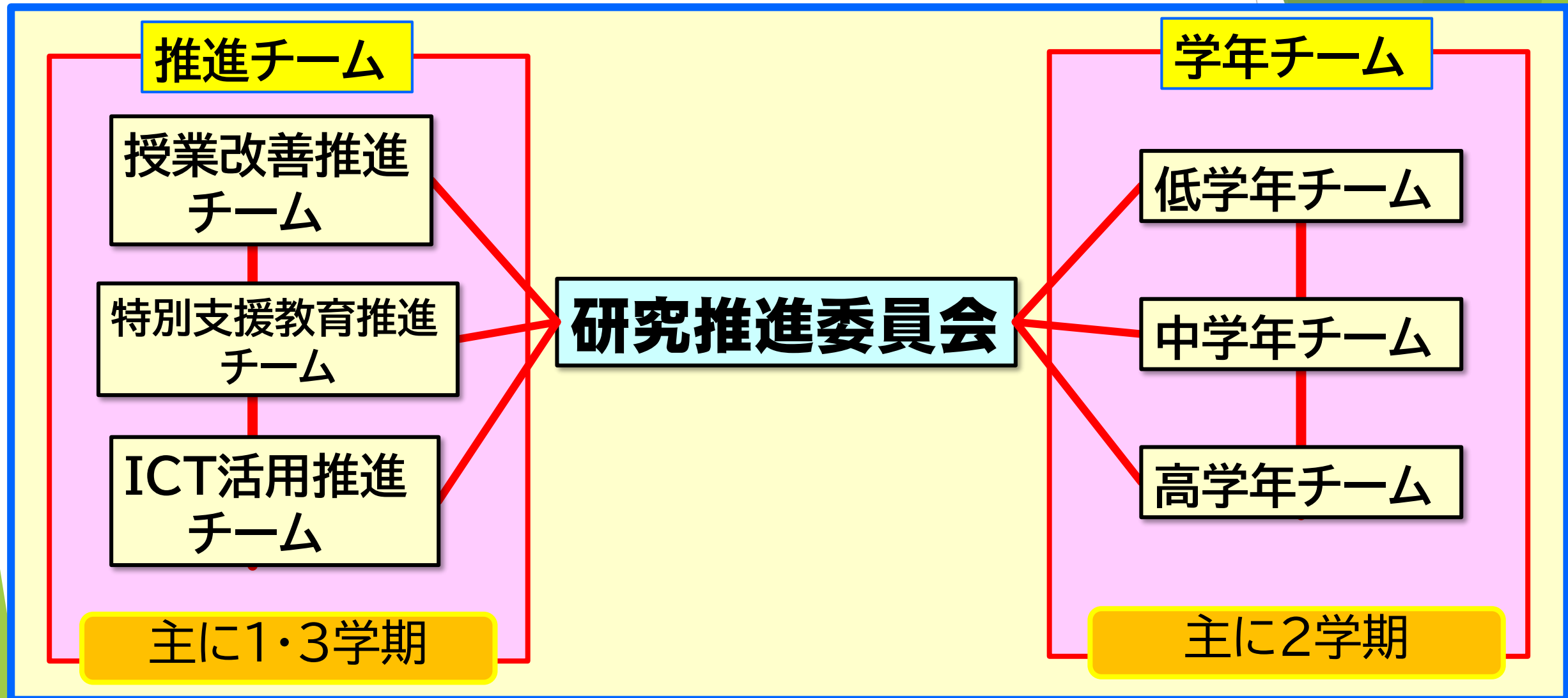
観点 (授業改善に関する内容)

- 【5】 授業改善
- 【6】 ICT活用スキルアップ
- 【7】 特別支援教育の充実

【具体的な内容】

- ①個別最適な学びと協働的な学び
- ②ICT活用
- ③特別支援の手立て

研究組織



推進チームの取組

- ① 授業改善推進チーム
- ② ICT活用推進チーム
- ③ 特別支援教育推進チーム

推進チームの取組

- ① 授業改善推進チーム
- ② ICT活用推進チーム
- ③ 特別支援教育推進チーム

授業改善の視点から富田スタイル学習指導の確立へ

1 県・事務所・町が示す授業改善の視点

| | 県 | 中部教育事務所 | 新富町 |
|------------------------|---|---------|-----|
| めあてとまとめの整合 | ● | | ● |
| 指導内容の精選 | ● | | |
| 実態との整合 | ● | | |
| 的確な指示・発問 | ● | | |
| 資質・能力の明確化 | | ● | |
| 個別最適な学びと 協働的な学びの一体化 | | ● | ● |
| ICTの活用 | | | ● |
| 習熟の時間の工夫 | | ● | ● |
| タイムマネジメント | | | ● |
| 問いをもつ | ● | | |
| 学び合い考えを広げる | ● | | |
| 深く考える力 | ● | | |

ひ
な
た
の
学
び

授業改善の視点から富田スタイルの確立へ

2 全ての視点を包括した富田スタイルの確立

| | 富田スタイル | |
|------|-------------------|---|
| 見通す | 問いをもつ | <div>ICTの効果的活用 タイムマネジメント 的確な指示・発問 深く考える力 特別支援教育</div> |
| | めあてとまとめの整合 | |
| 調べる | 個別最適な学び 協働的な学び | |
| まとめる | 学び合い考えを広げる | |
| | めあてとまとめの整合 | |
| ふり返る | 習熟の時間の工夫 | |
| | 個別最適な学び 協働的な学び | |

富田小 学習指導案『授業構想シート』

3 個別最適な学び と協働的な学びに 関わる児童の実態

第5学年3組 算数科 授業構想シート

1 単元名 単位量あたりの大きさ

2 本時の目標 測みかあいなどの算数の2 量の関係する事柄の程度の比べ方を考え、単位量あたりの大きさを求めて表したり、程度の大小を判断したりすることができる。（参考：表現・判断）

3 個別最適な学びと協働的な学びに関わる児童の実態

- 視察を明確にして考え、見通しをもって予想を立てることができる。
- ICT 機器を使って自分の考えや意見をカードに書くことができる。
- 自分の考えや意見を書くことのできる児童は多いが、理由や根拠を明らかにして書くことのできる児童は少ない。
- 自分の考えや意見を相手に伝えることはできるが、相手の意見を聞く際に自分の考えと比較しながら聞くことが難しい児童がいる。
- ★ 自分の考えの根拠となる資料を提示しながら説明することが苦手な児童が多い。

4 学習目標・評価計画

| 学習目標 | 時数 | 評価の観点 | | |
|---|-------------|-------|-----|-----|
| | | 意-想 | 知-技 | 態-利 |
| ○ 測み具合の比べ方を考え、単位量あたりの大きさで測み具合を比べることができる。 | 1/2 (5分) | | ○ | |
| ○ 数量の関係をもとに単位とする方の量を決め、単位量あたりの大きさを求めて比べることができる。 | 1 | | ○ | |
| ○ 単位量あたりの大きさのよさに気づき、人口密度や燃費などよく用いられる単位量あたりの大きさについて知る。 | 1 | | | ○ |
| ○ 数値を簡単な場合に置きかえるなどして2量の関係を身近でわかりやすく考えることができる。 | 1 | ○ | | |
| ○ 単元テスト | 1 | | | ○ |

富田小 学習指導案『授業構想シート』

個別最適な学びと協働的な学びに関わる児童の実態について

○：よいと認められる
児童の実態

3 個別最適な学びと協働的な学びに関わる児童の実態

- 根拠を明確にして考え、見通しをもって予想を立てることができる。
- ICT機器を使って自分の考えや意見をカードに書くことができる。
- 自分の考えや意見を書くことのできる児童は多いが、理由や根拠を明らかにして書くことのできる児童は少ない。
- 自分の考えや意見を相手に伝えることはできるが、相手から意見を聞く際に自分の考えと比較しながら聞くことが難しい児童がいる。
- ★ 自分の考えの根拠となる資料を提示しながら説明することが苦手な児童が多い。

●：課題と感じられる
児童の実態

★：表現力に関する児童の課題

算数科の研究授業で検証したこと

- ▶ **個別最適な学びと協働的な学びの一体化はどうあればよいか。**
- ▶ **学んだことを自分の言葉でアウトプットできる力の育成はどうあればよいか。**

個別最適な学び1

調べる段階において

(1) 自分の考えをもつための手立て

(2) 自力解決するための手立て

①ICT機器の活用

②特別支援教育からのアプローチ

| 5 指導過程(本時 1/6時) | | ☆→課題(1)→ICで活用(2)→特別支援の視点 | |
|----------------------------|--|---|--|
| 段階 | 学習内容及び学習活動 | 指導上の留意点及び指導法 | |
| 見 通 す 10 分 | <p>1 意味の理解を促す。</p> <div>え、え、え、えのよつが問題のこみであって比べよう。</div> <p>2 関連をもち、</p> <ul style="list-style-type: none"> 人数が多い方がこんである。 部屋が小さい方がこんである。 広さとも人数も違う部屋がある。 <p>3 空想の部屋を考へる。</p> <div>のみで(空想問題)</div> <div>こみであってどうしようにもなりたいていともなるか。</div> | <p>① 「こんである」という言葉の空想の世界を想像させることで、部屋の広さについてイメージをもつことができるようにする。</p> <p>② 「こんである」言葉と「空いている」言葉を見分けることで、家の広さには、「人数」と「広さ」の要素の両方があることに気付かせる。(1)</p> <p>③ 人々を●で表し、部屋の枠に数分けていく複数の言葉を見分けることで、数分けた方が広さが増えることと人数が増えることに気付かせる。(2)</p> <p>④ 空想に対しての関連をもちかざるために、「広さ」の同じであれば「人数」で表わされること、「人数」の同じであれば「広さ」で表わされることとを知らせる。</p> | |
| 調 べ る 20 分 | <p>4 答えを考へる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ひまの人数で考へる。 子どもの人数で考へる。 <p>5 発表する。</p> <div>こみであって「1人あたり」のように1あたりで比べることができる。</div> | <p>① 部屋の広さや人数の両方とも考へる時間を確保するために、答えの出し方がない状態である場合には、グループの意見交換を促す。</p> <p>プレイトを使って1つのカードを送る。</p> <p>発表することで関連の発見や考えを交換しやすくなるようにすることで自分と相手の考え方の共通点や相違点を見つけ、意見を見えることができるようにする。</p> <p>② まよの発表を行うに、順番に言葉の広さを見分けるが順番を行うことで、それぞれの考え方の違いを自分の目で確かめる。</p> <p>※誤解(誤)事項</p> <div>広さが増えれば人数の広さが増える。人数が増えれば広さが増えることである。</div> | |
| ま と め る 7 分 | 6 振り返る。 | | |
| ふ り 返 る 目 分 | 7 振り返る。 | | |

6 板書計画

| | | | |
|---|--|---|--|
| 例の表のように入力する | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | |
| ① ② ③ ④ | | | |

調べる段階において

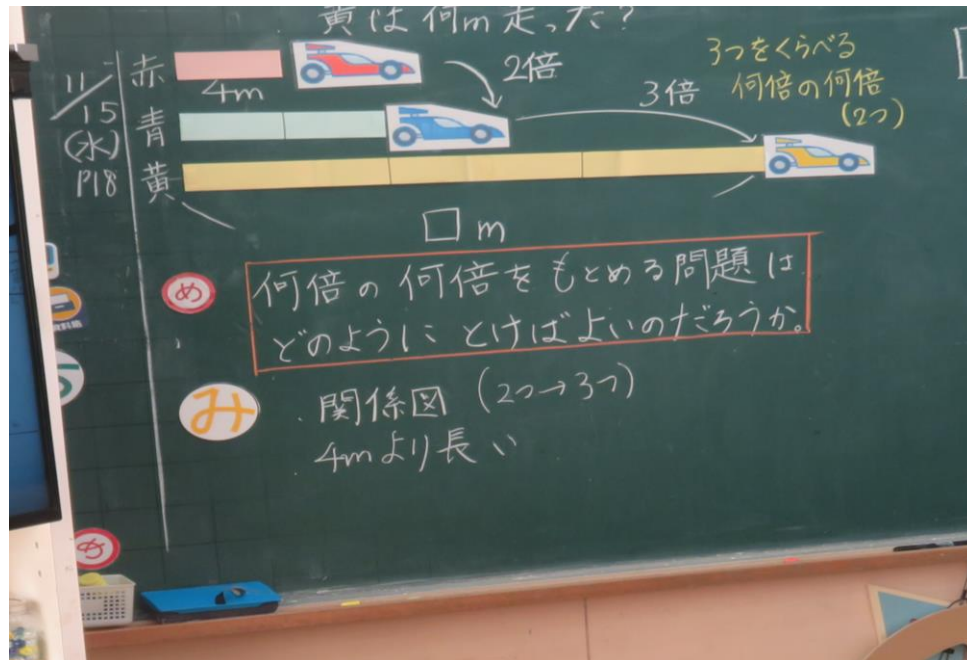
(1) 自らの考えをもつための手立て

自分の考えをもつとは…

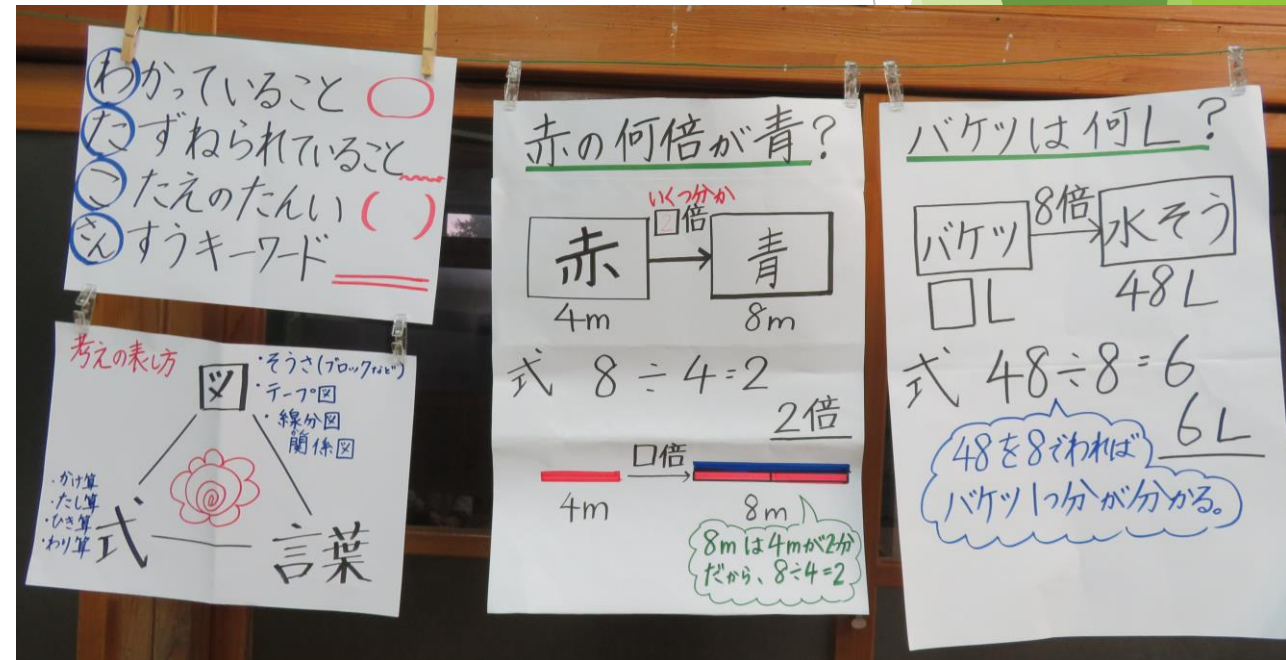
式や答えの意味や理由を、言葉や図、表、グラフ等を使って説明したり、表したりできること。(最終目標)

個別最適な学び

学習の見通しから考えをもつ



既習事項から考えをもつ



自分の考えを表す

式は、（ ）です。
答えは、（ ）です。

どのように考えたかを説明します。

まず始めに、（ ）しました。

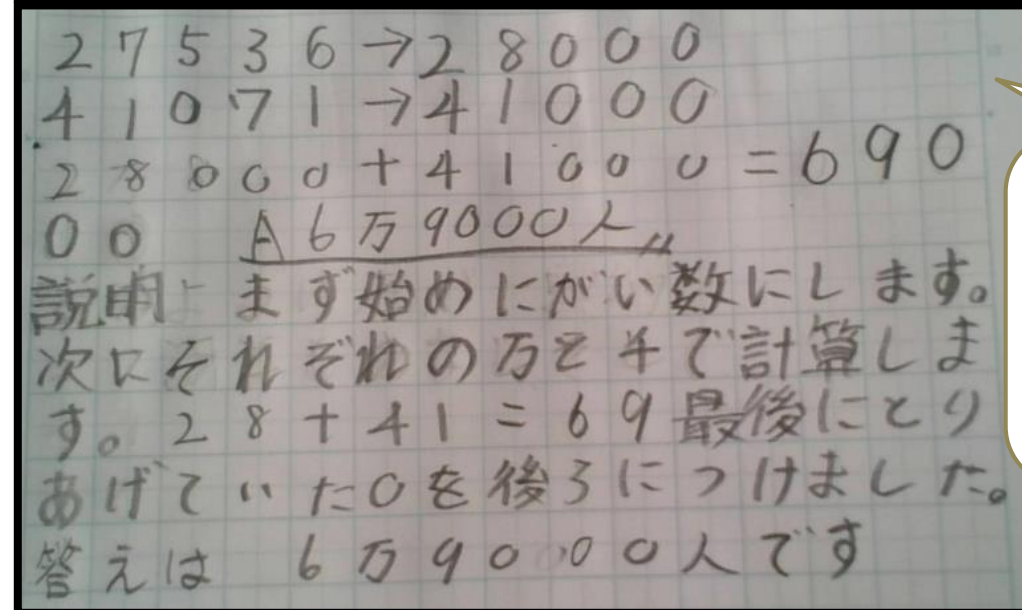
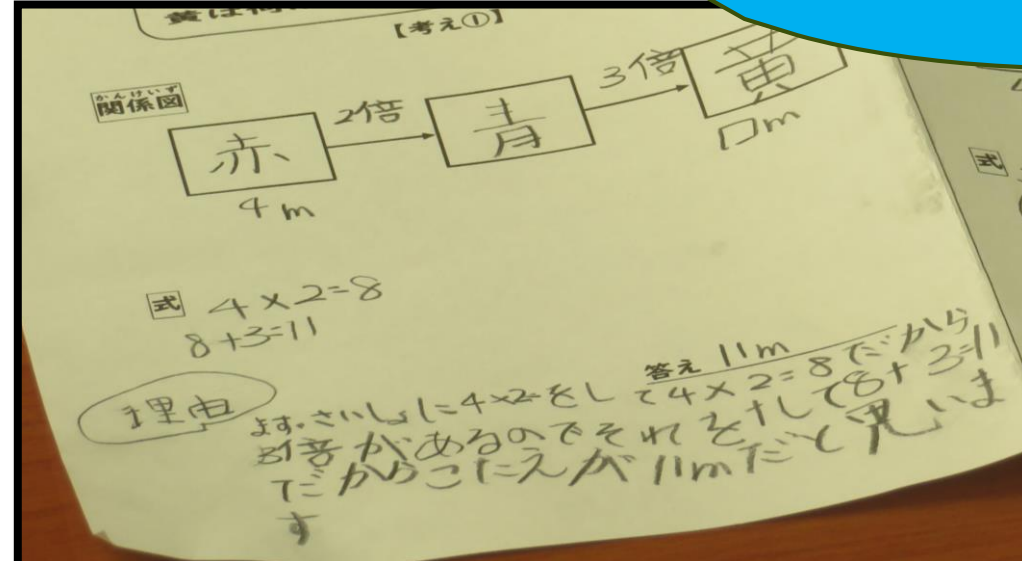
次に、（ ）しました。

そして、（ ）しました。

*他にも、また、それから、最後に
などの接続語を使う。

話型をもとに書く。

個別最適な学び



自分の考えや理由を簡潔に書く。

調べる段階において

(2) 自力解決するための手立て

①ICT機器の活用

ヒントカード

分からない人は、ヒントカードを見ましょう。

ヒント1

ヒント2

ヒント3の順で見ます。

ヒント1

それぞれの数がい数にしましょう。
がい算・・・がい数の計算



7625円



4193円



3558円

ヒント動画

QRコード

個別最適な学び

自らの学びを
調整する

ヒントカードをロイロノートの資料箱に数種類準備し、自分のレベルに合わせて選べるようにしておく。

ヒント動画やQRコードは、自分の理解に合わせて繰り返し見れるようにしておく。

調べる段階において

(2) 自力解決するための手立て

②特別支援教育からのアプローチ

支援を要する児童への手立て

| | | |
|------------------------|--|---|
| 調 べ る 20 分 | 3 めあてを設定する。 どんなけいさんをすると、こたえが4こになるのかな。 | 【実態】他の刺激に注意が移りやすい。 【目的】やるべきことに注目させる。 【手立て】机間指導時に個別に対応する。 【メモ】 |
| | 4 13-9について考える。 ・個人思考 ・「9」の取り方 5 考えを共有する。 ・2~3人程度 6 全体で話し合う。 ・はかせ 計算方法を比較 | 【実態】他の刺激に注意が移りやすい。 【目的】やるべきことに注目させる。 【手立て】敢えて前に出る(動く)機会を作る。 【メモ】 |

個別最適な学び



協働的な学び

調べる・まとめる段階において 「対話」

①対話の目的

②対話の形態

③対話に使用した学習教材

| 5 指導過程(本時 1/6時) | | ☆→評価(1)→ICT活用(2)→特別支援の観点 |
|-----------------|--|--|
| 時間 | 学習内容及く/学習活動 | 指導上の留意点及び評価 |
| 見通す 10分 | 1 単元の目標を知る。 「 調べる 」段階 「 まとめる 」段階 2 共通しきもつ。 3 人数が多い場合は2人組にする。 4 人数が少ない場合は3人組にする。 5 人数が多い場合は2人組にする。 6 人数が少ない場合は3人組にする。 7 人数が多い場合は2人組にする。 8 人数が少ない場合は3人組にする。 | ① 「調べる」段階 ② 「まとめる」段階 ③ 「調べる」段階 ④ 「まとめる」段階 ⑤ 「調べる」段階 ⑥ 「まとめる」段階 ⑦ 「調べる」段階 ⑧ 「まとめる」段階 |
| 調べる 20分 | ① 人数が多い場合は2人組にする。 ② 人数が少ない場合は3人組にする。 ③ 人数が多い場合は2人組にする。 ④ 人数が少ない場合は3人組にする。 ⑤ 人数が多い場合は2人組にする。 ⑥ 人数が少ない場合は3人組にする。 ⑦ 人数が多い場合は2人組にする。 ⑧ 人数が少ない場合は3人組にする。 | ① 「調べる」段階 ② 「まとめる」段階 ③ 「調べる」段階 ④ 「まとめる」段階 ⑤ 「調べる」段階 ⑥ 「まとめる」段階 ⑦ 「調べる」段階 ⑧ 「まとめる」段階 |
| まとめる 7分 | ① 人数が多い場合は2人組にする。 ② 人数が少ない場合は3人組にする。 ③ 人数が多い場合は2人組にする。 ④ 人数が少ない場合は3人組にする。 ⑤ 人数が多い場合は2人組にする。 ⑥ 人数が少ない場合は3人組にする。 ⑦ 人数が多い場合は2人組にする。 ⑧ 人数が少ない場合は3人組にする。 | ① 「調べる」段階 ② 「まとめる」段階 ③ 「調べる」段階 ④ 「まとめる」段階 ⑤ 「調べる」段階 ⑥ 「まとめる」段階 ⑦ 「調べる」段階 ⑧ 「まとめる」段階 |
| 振り返る 5分 | ① 人数が多い場合は2人組にする。 ② 人数が少ない場合は3人組にする。 ③ 人数が多い場合は2人組にする。 ④ 人数が少ない場合は3人組にする。 ⑤ 人数が多い場合は2人組にする。 ⑥ 人数が少ない場合は3人組にする。 ⑦ 人数が多い場合は2人組にする。 ⑧ 人数が少ない場合は3人組にする。 | ① 「調べる」段階 ② 「まとめる」段階 ③ 「調べる」段階 ④ 「まとめる」段階 ⑤ 「調べる」段階 ⑥ 「まとめる」段階 ⑦ 「調べる」段階 ⑧ 「まとめる」段階 |

調べる・まとめる段階において 「対話」

協働的な学び

①対話の目的

| | |
|---|------------------|
| 1 | 自分と他者の共通点・相違点を知る |
| 2 | 自分の考えを広げる |
| 3 | 自分の考えを深める |
| 4 | 新たな考えをもつ |
| 5 | 最適解・納得解を導きだす |

調べる段階で得た
自分の考えを伝える



個別最適な学び
と協働的な学び
の一体化

調べる・まとめる段階において 「対話」

②対話の形態

協働的な学び

友達と同じ式だけど
考え方が違うな

そんな考え方が
あったのか



低学年の様子



中学年の様子



高学年の様子

ペアでの対話

グループでの対話

調べる・まとめる段階において 「対話」

協働的な学び

③対話に使用した学習教材（紙媒体）

ノートやワークシートを活用した対話



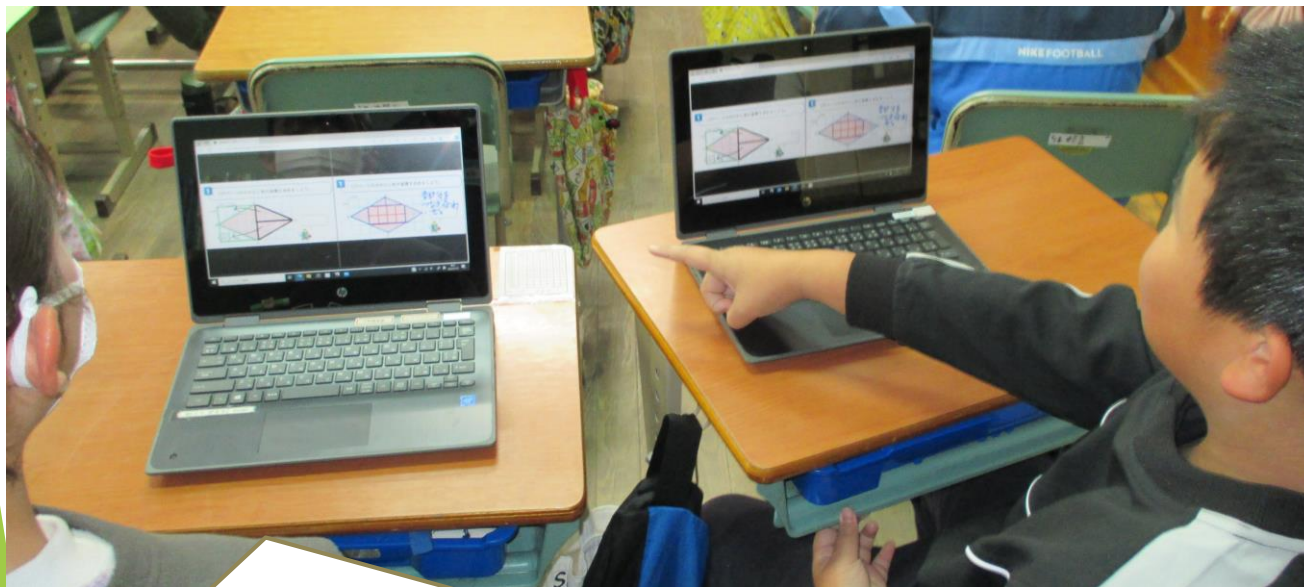
調べる・まとめる段階において 「対話」

協働的な学び

ICT機器の活用

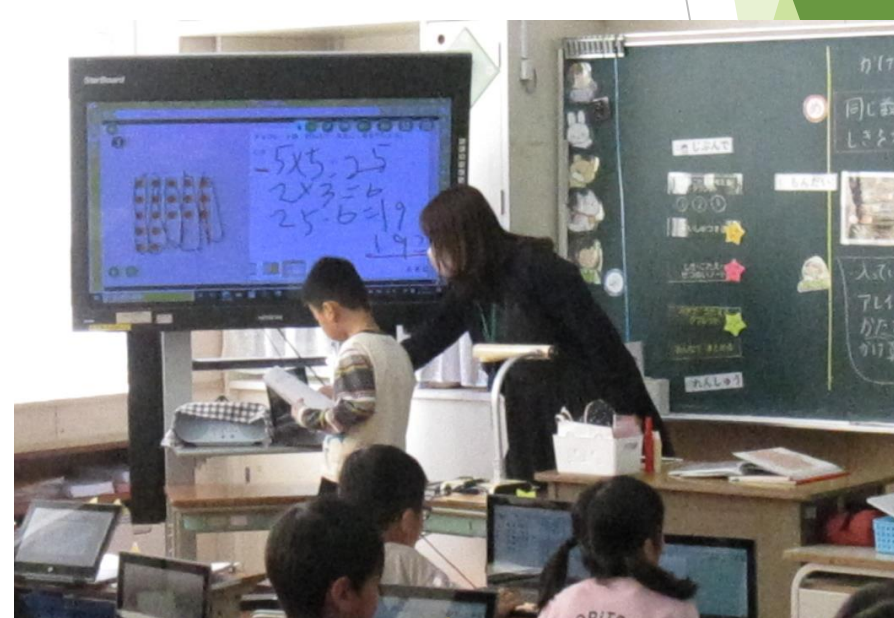
④対話に使用した学習教材（ICT機器）

提出箱を活用したペア対話



ロイロノートに記入した考えをペアで共有する。

提出箱を活用した全体対話



ロイロノートに記入した考えを全体で共有する。

個別最適な学び2

ふり返る段階において

(1) 習熟の時間

(2) 自分の学びの振り返り

| 段階 | 学習内容及び学習活動 | 指導上の留意点及び評価 |
|------------|--|--|
| 見通す 10分 | <p>① 意味の理解を促す。</p> <p>よ、良、て、などのよつが関係の二ひきあいを比べよう。</p> <p>② 関連性をもち、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ えの数が多いほうがこんでいる。 ・ 部屋がせまいのがこんでいる。 ・ 広さとも人数も違う部屋がある。 <p>③ 生活場面を考えて考える。 （お母さんとお父さんの） このてあいはどのようにしちやべられちやうか。</p> | <p>○ 「読んでいい」という言葉から文章の意味を感じさせることで、読み具合についてイメージをもつことができるようにする。</p> <p>○ 「読んでいい」文章と「書いていい」文章を見せることで、読み具合には、「人物」に「はだ」の要素の要素していることに対応させる。（注）</p> <p>○ 人々●で表し、部屋の枠に数えられている複数の文章を見せることで、数え方が変わるのと元の数の変化が異なることに気付かせる。（※）</p> <p>○ 答えに対しての関連性も知らせるために、「はだ」の同じであれば「人物」で表わされること、「人物」の同じであれば「はだ」で表わられるということをおぼえておく。</p> |
| 調べる 20分 | <p>④ 答えを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ おひめの人数で考える。 ○ 子どもの人数で考える。 <p>⑤ ペアで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ エキスパート役割を行う。 ○ ロボスターのを行う。 ○ 両方のタブレットで考えをまとめる。 <p>⑥ 発表する。</p> | <p>○ 言葉の意味や数字の意味を考えるとき時間を経験するために、答えの出し方だけでなく計算をする場合には、タブレットの電源ボタンを使用させる。</p> <p>○ 両方解決が難しい児童にはタブレットを使ってにこカードを送る。</p> <p>○ ロボスターの受渡しの報告を待てることで友達の使用や考えを交換しやすいとする。（注）</p> <p>○ エキスパート役割にロボスターの担任がいることで自分と相手の考え方の共通点や相違点を見つけ、意見を交わることができるようになる。</p> |
| まとめ 7分 | <p>またあて</p> <p>このてあいで「1人あたり」のように1あたりに結ぶことができる。</p> | <p>○ またあてを行う際に、順番に各組の代表者だけが移動を行うことで、それぞれが考え方の違いを自分の目で確かめられる。</p> <p>※課題図書：赤い糸</p> <p>読んでいる本の関係の言葉が記述する内容の対応のあて方を考えることが出来る。</p> |
| ふり返る 5分 | | <p>このてあいで考えたことをもう一度確認しよう。そのときまた活用したワークシートが使えるようになるための練習にしよう。</p> |

ふり返る段階において (1) 習熟の時間

協働的な学びで得た最適解を用いて、適用問題に取り組む。

個別最適な学び

(教科書の問題)

③ 次の計算の答えを、一万の位までのがい数で求めましょう。

- ① $72965 + 46218$ ② $263156 + 647980$
③ $99632 - 31875$ ④ $924370 - 198364$



確実な知識・技能の
定着を図る習熟問題

ひなたさんは、家族でヤマダ電機に行きました。
お父さんは7625円のひげそりを、
お母さんは4193円のドライヤーを、
ひなたさんは3558円の電動えんぴつづけずりを、
それぞれレジに持ってきました。
お父さんのスマホのPayPayには、15000円入っています。買えるかどうか見つもってみましょう。



実生活での活用をイ
メージした習熟問題

個別最適な学び
と協働的な学び
の一体化

ふり返る段階において (2) 自分の学びのふり返り

個別最適な学び

自分の言葉で表現する(アウトプット)

本時学習で分かったことを伝える。→表現力の向上

① ① 9円の6まい
② 80円を1つ

しき $9 \times 6 = 54$
 $54 + 80 = 134$
134円

③ 1まい 9円の色紙を6まい
買った数をもとめると
 $9 \times 6 = 54$ です。
つぎに、80円ののりのね
だんを合わせると、
 $54 + 80 = 134$ になります。
だからこたえは134円にな
ります。

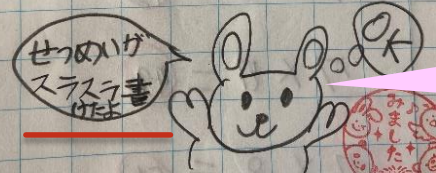
考えた
解法

考えの
説明

④ 6まいが5まい分で、
6まいは6×5になります。
しきは6×5です。
しき ね×7=42
42こ

⑤ 6こ入りか7まい分なの
しきは6×7になります。
だからこたえは42こです。

せつめい
スラスラ書
けい



・学習の感想
・先生への
メッセージ

推進チームの取組

- ① 授業改善推進チーム
- ② ICT活用推進チーム
- ③ 特別支援教育推進チーム

本校のICT活用に関する課題

教師側の課題

教材化への不安

不慣れな機器操作等

児童側の課題

不明瞭な情報活用スキル

情報モラルの不徹底等



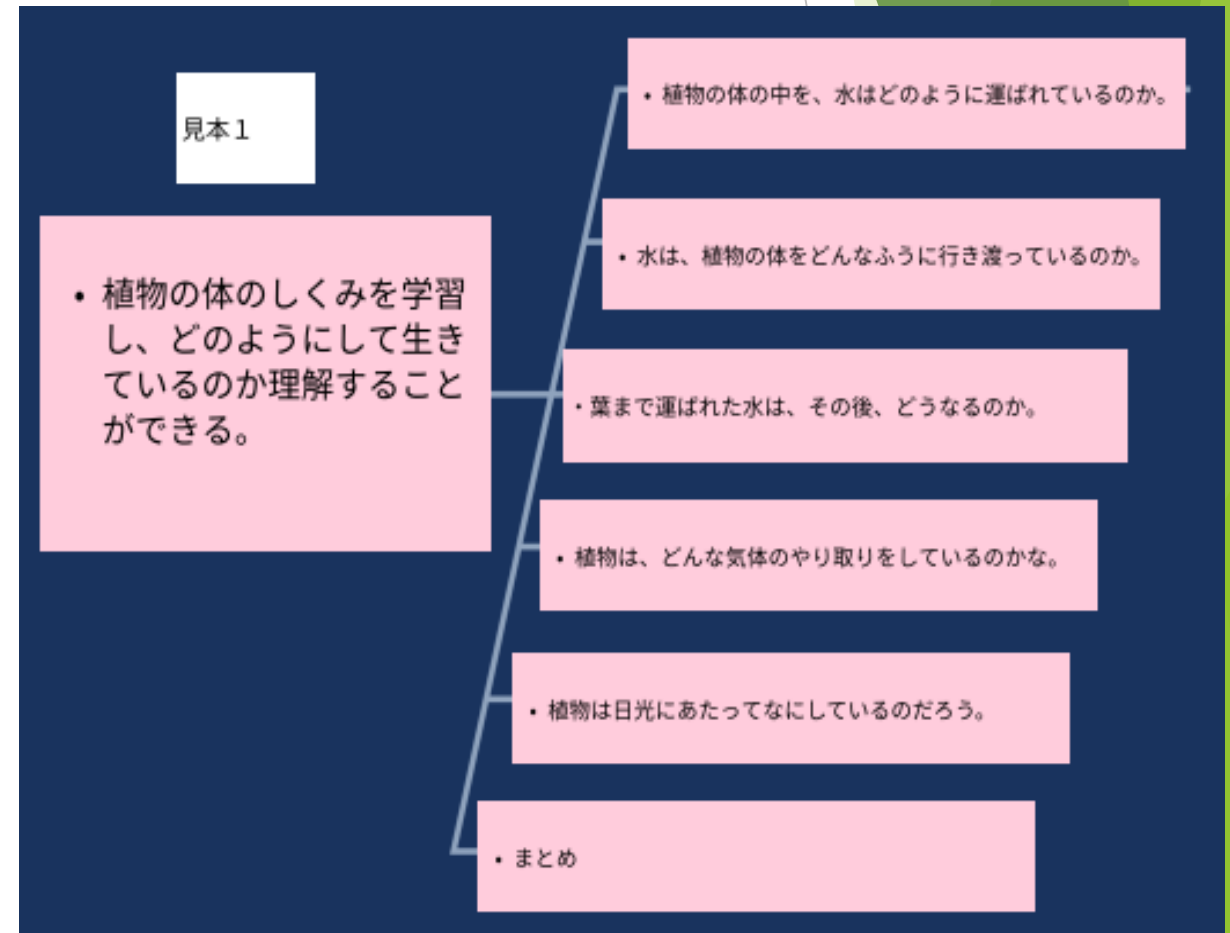
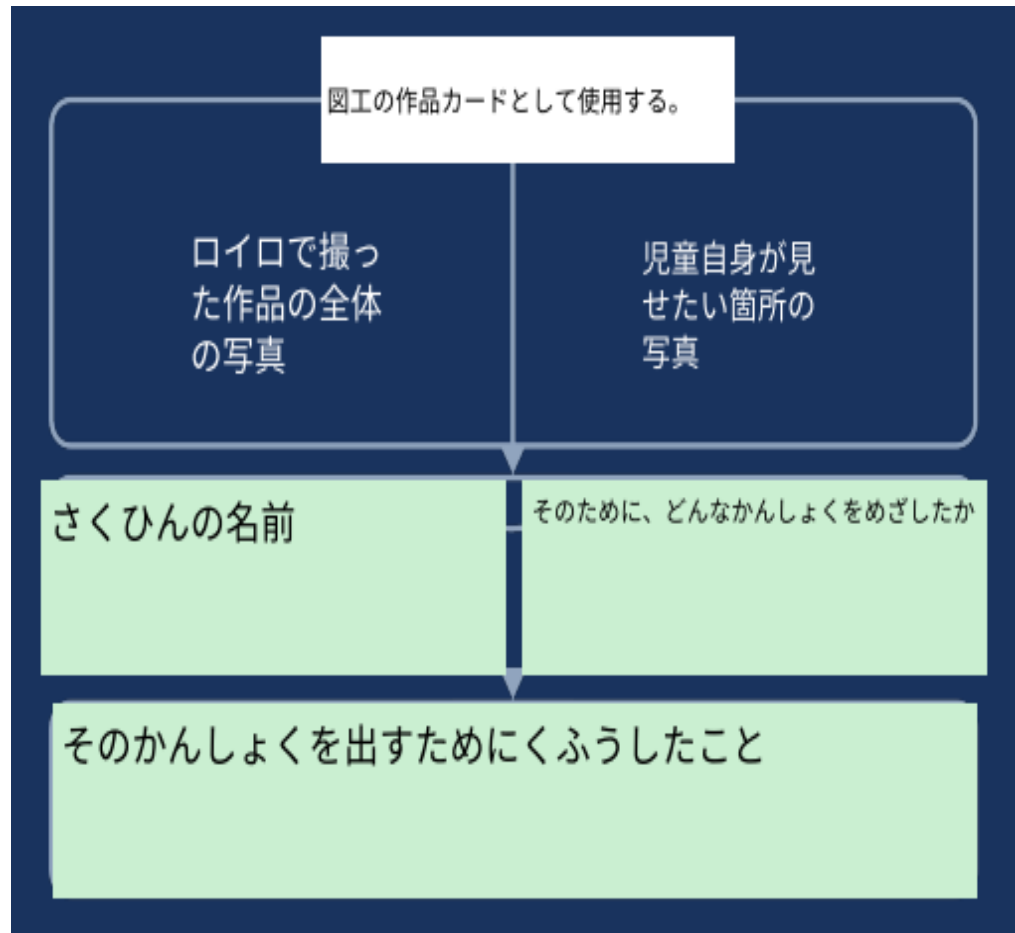
「スマイルアップICT」

「ICT教具の活用一覧表」

| 段 階 | 活用できる教具一覧【例】 | |
|------|---|---|
| | ロイロノート | その他のICT |
| 見通す | QRコード 画像 動画 アンケート テスト | デジタル教科書 |
| 調べる | 動画撮影・シンキングツール ワークシート（PDFで作成） アンケート 小テスト Webカード 共有ノート | 動画(NHK for school等) インターネット デジタル教科書 Eライブラリ |
| まとめる | 発表シート・提出箱 | |
| ふり返る | 習熟問題シート（自作） テスト | Eライブラリ デジタル教科書 動画(NHK for school等) |

ICT教具サンプルの作成

【シンキングツールのサンプル】



ICT教具作成マニュアルの作成

【ワークシート作成の例】

ワークシートの作成

ここでは、児童に配付する見栄えの良い「ワークシート」の作成手順について説明していきます。



① 文書作成ソフト（Word,一太郎）を使って「元になる文書」を作成する。

すずしく快適に過ごす着方と手入れ

7月2日

めあて 洗たくの仕方をまとめ、くつしたを洗たくしてみよう。

【学習の進め方】

- ① 教科書 100～101 ページを読み、「洗たく」についてまとめる。
- ② 学習ノート 15 ページをタブレットをもとにまとめる。
- ③ 「衣服のたたみ方」を見て、実際に「たたんで」みる。「くつした」の洗たくしてみる。

【活動①】「洗たく」についてまとめよう。

④ 洗たくについて知ろう

- ★ 洗たく・・・水や **洗剤**、手や **電気洗濯機** の力などを用いて、**よごれ** を落とすこと。

《洗たくの手順》



準備する

- **ポケット** の中などを点検する。
- 洗たく物を **布**、**よごれ**、**種類** などで分け洗い方を考える。
- どのなどの **よごれのひどいもの**は、水で **下洗い** しておく。

- 「元になる文書」作成の場合は、2通りの作成方法があります。

- ① あらかじめ「答えとなる文言」を入れておく。
 - ② 「答えとなる文言」部分を空白にしておく。
- ※ ①は児童がロイロのテキストをはがすと答えが出てしまうので、あまりお勧めできません。
- 児童に入力させたい部分を口囲みしておくでロイロで編集するときに失敗しません。



「枠飾り」は文書作成ソフトにあらかじめ入っているものの他、「ラベルマイティ」等のソフトを活用すると見栄えの良いシートが作成できるので、お勧めです。



教科書等の画像を貼りたい場合は、**コピー機でスキャン**をするとPDFで保存されます。後述する「ロイロノートに貼る」ときにワークシートに貼り付けることも可能です。



作成データ教材の共有化

【ロイロノートを活用したデータの蓄積と管理】

外国語

図工

体育

音楽

社会

国語

算数

理科

家庭科

水溶液第2時タブレット.pdf
2023年6月28日 16:12

水溶液第1時タブレット.pdf
2023年6月28日 16:12

水溶液の性質まとめ.pdf
2023年6月28日 16:12

塩酸にとけた金属の行方.pdf
2023年6月28日 16:12

テスト②
2023年6月28日 16:12

練習問題②.pdf
2023年6月28日 16:12

水溶液の仲間分け

☆ リトマス試験紙を使った結果を表にまとめましょう。

| 水溶液の名前 | 赤いリトマス試験紙 | 青いリトマス試験紙 |
|--------|-----------------------|----------------------------------|
| (例) 水 | <input type="radio"/> | <input checked="" type="radio"/> |
| 食塩水 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 炭酸水 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 塩酸 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| アンモニア水 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 重曹水 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

【結果からわかること】

② 水溶液は、大きく分けると

☐ 性 ☐ 性 ☐ 性

の3種類に分けられる。

☆ ☐ 性の仲間・・・

☆ ☐ 性の仲間・・・

☆ ☐ 性の仲間・・・

☒ 食塩水 ☒ 炭酸水 ☒ 重曹水 ☒ アンモニア水 ☒ 塩酸

学年ごとの情報モラル一覧表の作成

| 学年 | 前期の指導内容 | 後期の指導内容 |
|-----|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1年生 | 学習用タブレットの上手な使い方 ※スキル指導も含めて2回実施 | 学習用タブレットの上手な使い方 ※スキル指導も含めて2回実施 |
| 2年生 | スマートフォンやタブレットなどの使いすぎ | スマートフォンやタブレットなどの利用マナー |
| 3年生 | ネットゲームに夢中になると・・・ | ひとりよがりの使い方にならないように |
| 4年生 | パスワードについて考えよう | うまく伝わったかな？ |
| 5年生 | 軽い気持ちのID交換から・・・ | SNSの書き込みへの影響 |
| 6年生 | 写真や動画が流失する怖さを知ろう | 思ったままSNSに送信しただけなのに |

情報タイムの実施

指導内容 『GIGAワークブックみやざき』を活用

学年の発達段階に応じた内容を抽出して実施

時 間 昼の活動(13:15~13:30)において、2学期以降計8回(15分間×8回=120分間)

| 実施時期 | | 1 学年 | 2 学年 | 3 学年 | 4 学年 | 5 学年 | 6 学年 |
|------|--------|-----------------------------|--------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 2 学期 | 月 日 | オリエンテーション | オリエンテーション | オリエンテーション | オリエンテーション | オリエンテーション | オリエンテーション |
| | 9月27日 | たんまつを使う時の言葉を知ろう (スキル) | 「学習の目てき」といえるのかな (モラル) | パスワードのつくり方や使い方 (セキュリティ) | パスワードのつくり方(セキュリティ) | 端末を使うとできることは(スキル) | 「学習の目的」と言えるのかな (モラル) |
| | 10月19日 | 大切に使うとは (モラル) | 上手な写真のとりかたを学ぼう (スキル) | 家庭でのルールをつくらう(スキル) | どのように写真を撮ればよいのかな (スキル) | 使いすぎているかな(モラル) | 変なコメントが書き込まれたら (セキュリティ) |
| | 11月8日 | たんまつが動かなくなったときは (セキュリティ) | 勝手に書きこまれたら(セキュリティ) | 見てもよいサイトかな(モラル) | 上手な検索方法を学ぼう(スキル) | 災害が起きたときの情報収集 (セキュリティ) | 端末を使う時は (モラル) |

発達段階に応じた「タブレット基本操作一覧表」

| No. | 操作項目 | 内容（１年生） | 内容（２年生） |
|-----|------------|---|---|
| | タブレットの基本操作 | <input type="checkbox"/> キャビネットへの片付け方 | <input type="checkbox"/> caps Lockのオン・オフの仕方 |
| | | <input type="checkbox"/> 電源ケーブルの差し込み方 | <input type="checkbox"/> スリープ機能の使い方 |
| | | <input type="checkbox"/> 電源の入れ方・消し方 | <input type="checkbox"/> 再読み込みの仕方 |
| | | <input type="checkbox"/> 音量の上げ方・下げ方・消し方 | <input type="checkbox"/> ミュートのオン・オフの仕方 |
| | | <input type="checkbox"/> 右上の図をクリックしてウィンドウを閉じる | <input type="checkbox"/> 画面の明るさの調整の仕方 |
| | カメラ操作（本体） | <input type="checkbox"/> 写真・動画を撮る | <input type="checkbox"/> |
| | | <input type="checkbox"/> 撮った写真・動画を見る（本体のフォルダ） | <input type="checkbox"/> 撮った写真・動画を削除する（本体のフォルダ） |
| | キーボード入力 | <input type="checkbox"/> タブレットにログインするためのキーボード入力 | <input type="checkbox"/> |
| | | <input type="checkbox"/> アプリにログインするためのキーボード入力 | <input type="checkbox"/> |

推進チームの取組

- ① 授業改善推進チーム
- ② ICT活用推進チーム
- ③ 特別支援教育推進チーム

課題解決の考え方の整理

UD



聞く力

聞く力



表現力

継続取組



学力向上

※ UD ・ ・ ・ ユニバーサルデザイン

特別支援の視点からの7つのチェックリスト

| 観 点 | チェックリスト |
|------|----------------------------------|
| 学級環境 | 教室内の物の置き場所が1つ1つ決まっているか。 |
| | 教材の場所や置き方が、一目でわかるようになっているか。 |
| | 教室前面の壁の掲示物は、必要最低限の物に絞られているか。 |
| | 教室前面の棚が余計な刺激になっていないか、目隠しなどしているか。 |
| | 座席の位置は、個々の特徴に合わせたものになっているか。 |
| 指導方法 | 指示・伝達事項は、可視化(板書等)しているか。 |
| | 抽象的で曖昧な表現は、具体的な表現に置き換えているか。 |

※参考資料

「分かる!」「できる!」学校全体で取り組む授業の土台づくりハンドブック（宮崎県教育委員会）

※参考文献

通常学級での特別支援教育のスタンダード（東京書籍:東京都日野市教育委員会with小貫 悟）



休み時間



授業中



教室前方



教室後方

児童が聞いて考え、活動できる指導方法

| 観点 | 具体的な指導方法 |
|----------|---|
| 指示前 | <ul style="list-style-type: none">● 手を鳴らす● 「話します」、「注目」→ そろうまで待つ |
| 可視化 | <ul style="list-style-type: none">● 手順を番号で● 矢印で、『今ここカード』で● 指示を文字で残す● イラストで、写真で など |
| 具体的な表現 | <ul style="list-style-type: none">● ちゃんと → 「姿勢は『ペタ・ピン・グー』の『ペタ』です」● しずかに → 「口はロック」● ていねいに → 「一文字を5秒で書きます」 など |
| 指示の精選 | <ul style="list-style-type: none">● 短いフレーズ、短文で一文ずつ● 活動が終わってから次の指示を出す |
| 児童の発言の精選 | <ul style="list-style-type: none">● 指示の後に「質問はありませんか」● 「どうぞ」で活動を始める● 「(姿勢で)合図をください」で終わりを確認 |

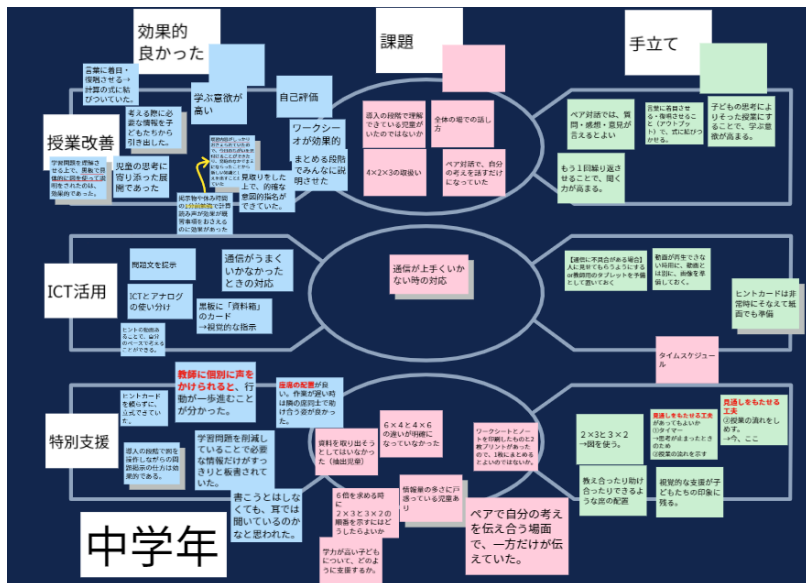
「働き方改革に係る取組」(研究とは別枠1)

ICT研修と協議会の一体化

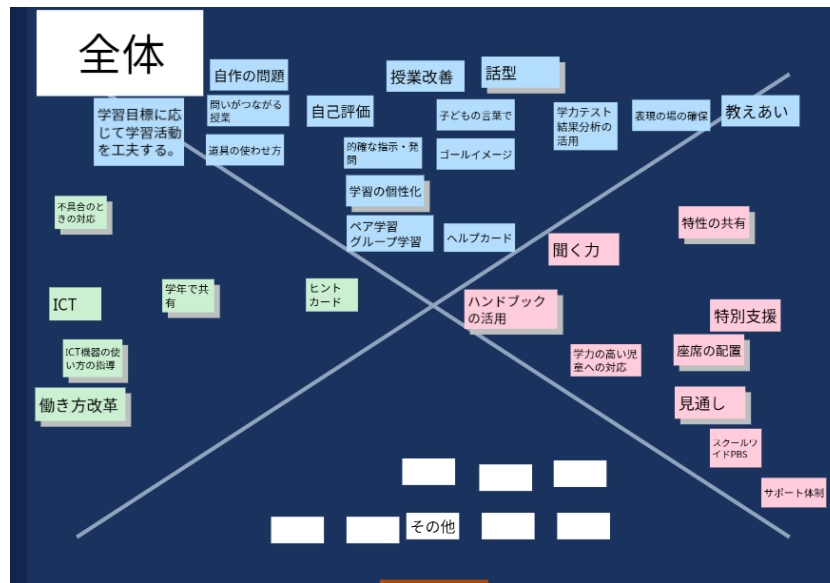


ロイロノートのシンキングツールの活用（例）

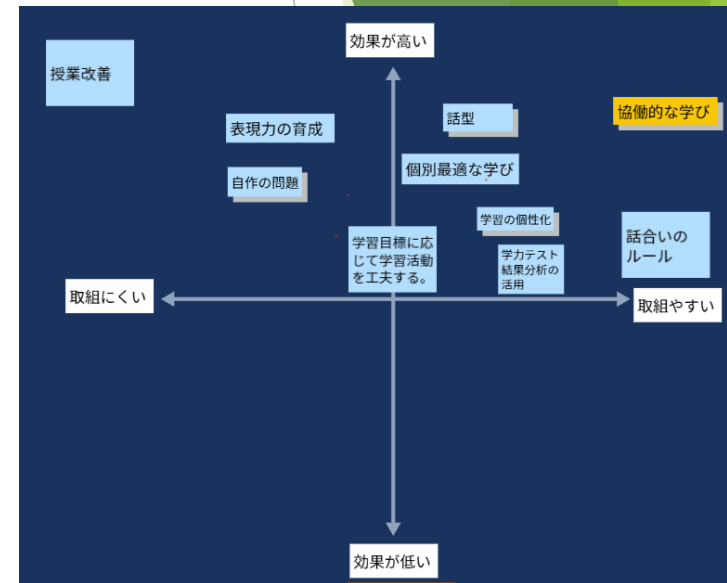
リボンチャート



Xチャート



座標軸チャート



成果(効果的・良かった点)と課題、その課題解決の手立てを出し合い分類してまとめる。

各チームごとの取組を分類してまとめる。

各取組を効果と取組やすさの観点で考え、整理し、まとめる。

「働き方改革に係る取組」（研究とは別枠2）

- ① **フレックスタイムの導入（夏季休業中）**
- ② **昼休み（45分）の分割**
- ③ **長期休業への研修の位置づけ**

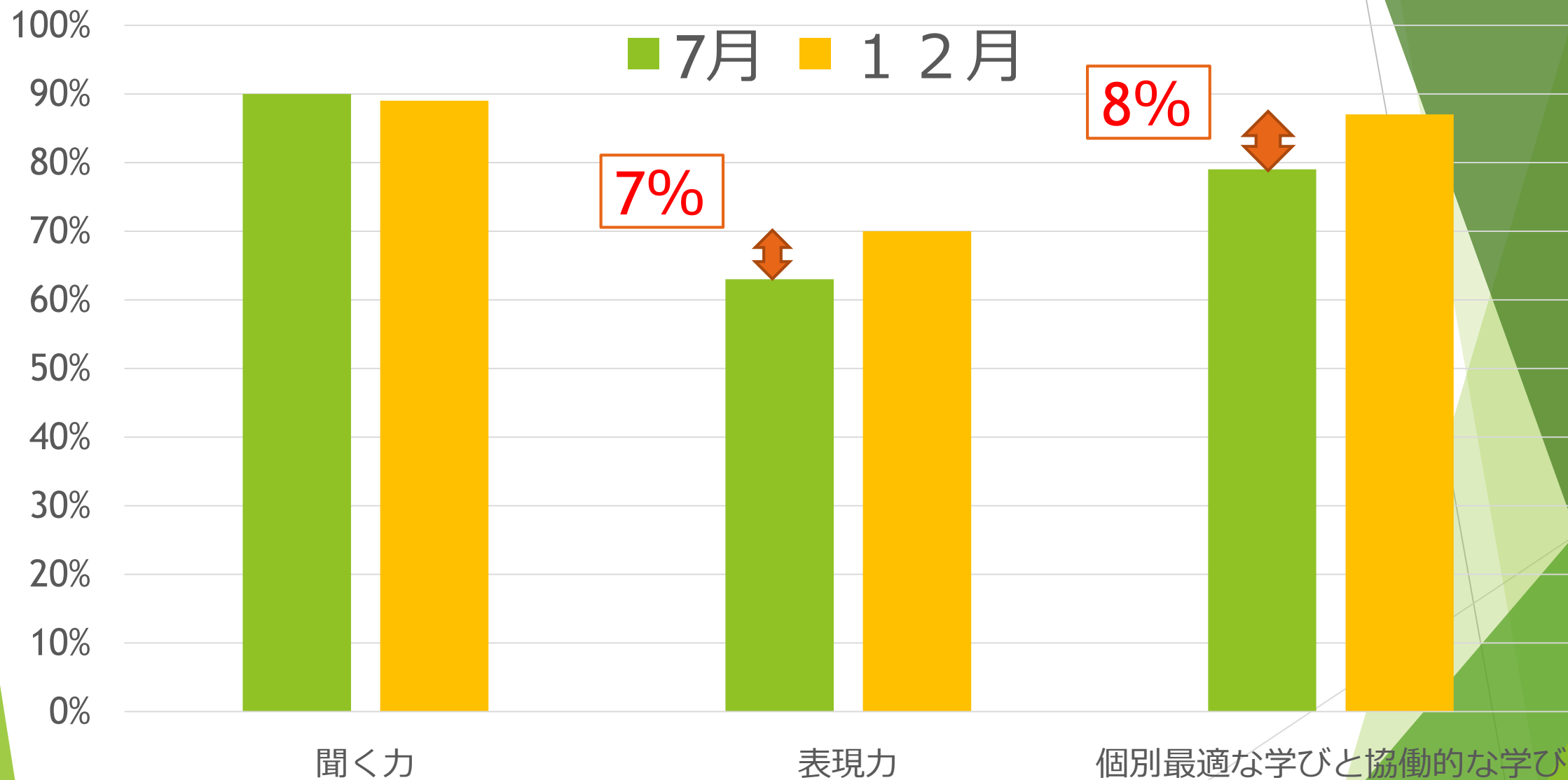
児童（低学年）の授業の実態調査の主な項目（一部抜粋）

【3】 算数の授業中、先生や友達の話聞いていますか。

【4】 算数の授業中、自分の考えを言った後、理由を説明することができていますか。

【6】 算数の授業中、先生や友達に自分の考えを言ったり、先生や友達の話聞いてたりすることができていますか。

児童の変容(聞く力・表現力・個別最適な学び協働的な学び)



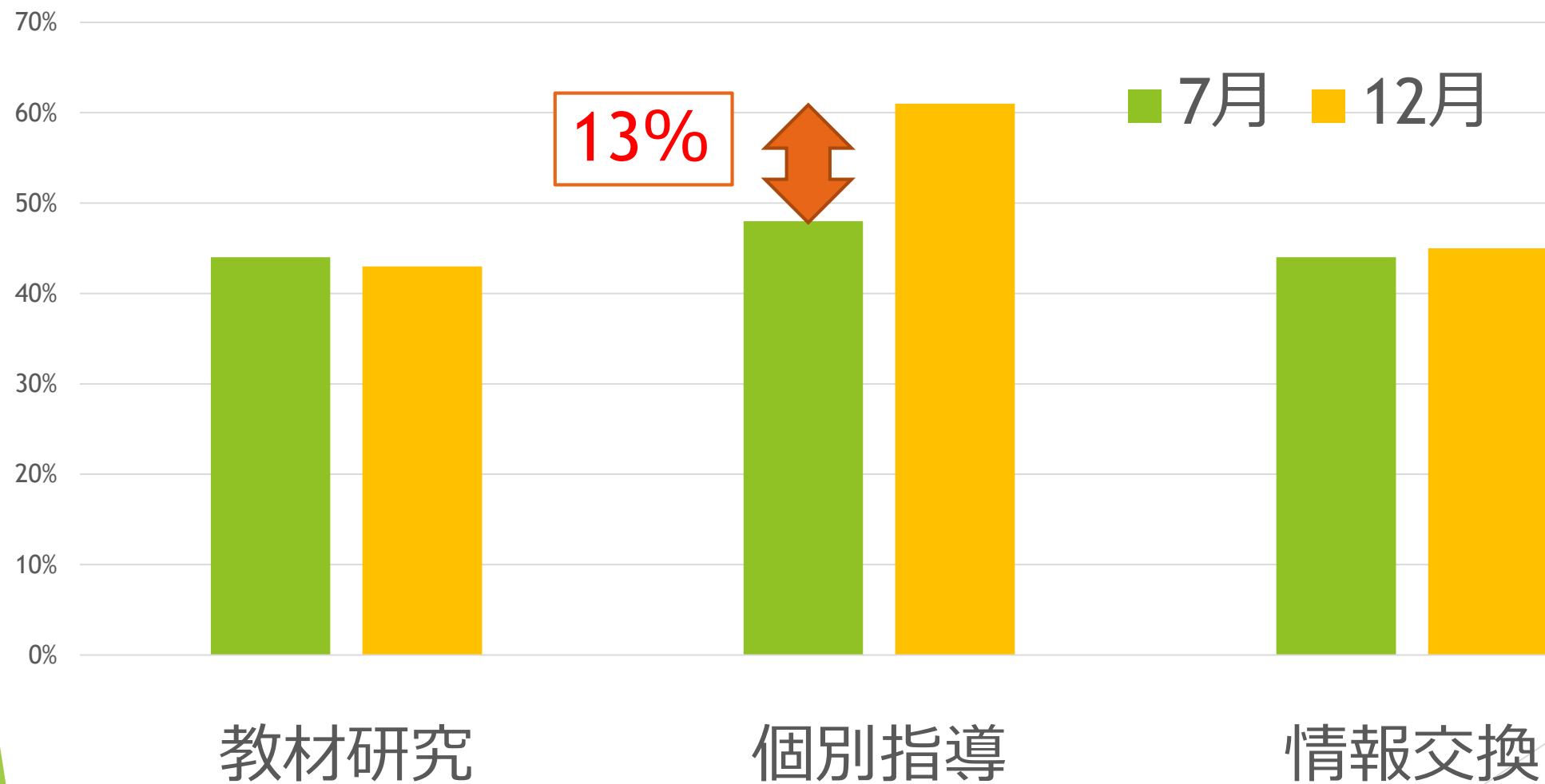
教師向け働き方改革実態調査の主な項目（一部抜粋）

【3】 勤務時間内に、教材研究や学級事務などの業務に要する時間をとれていますか。

【4】 勤務時間内に、児童に対して個別に指導を行ったり、相談等を行ったりする時間がとれていますか。

【5】 勤務時間内に、他の教職員と教科指導、生徒指導などに関する情報交換（会話などを含む）をする時間がとれていますか。

教職員の変容(勤務時間に関すること)



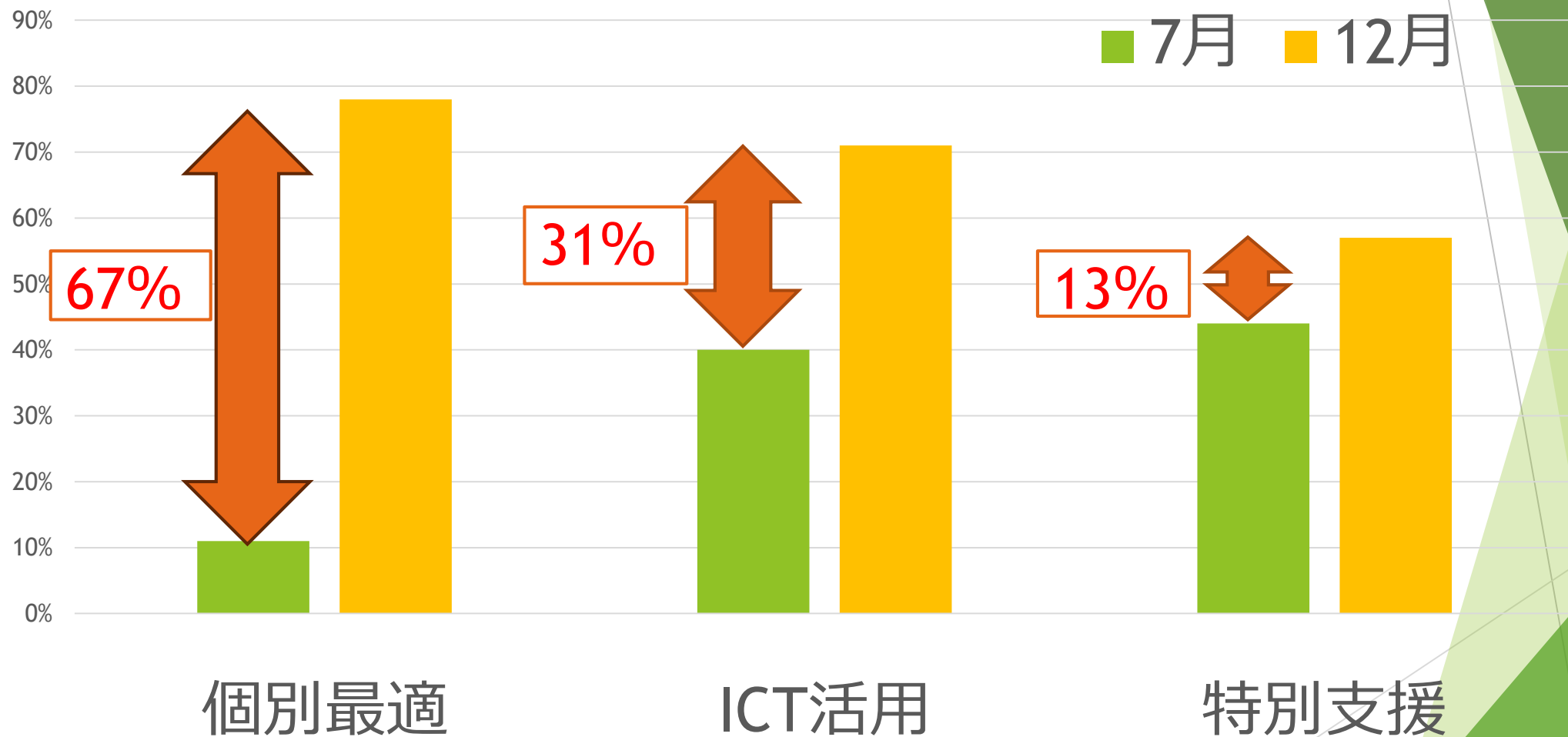
授業改善に関する実態調査の主な項目（一部抜粋）

【13】 個別最適で協働的な学びになるように単元計画を立て、計画的に授業を実施することができていますか。

【17】 ICT機器を活用して、個別最適で協働的な学びの授業を展開することができていますか。

【18】 特別支援の視点から児童一人一人に個に応じた手立てを考えて授業を進めることができていますか。

教職員の変容(授業改善に関わる取組に関して)



研究の成果

- 少しずつ「表現力」が高まり、「自分の考えをもち、仲間との対話を通して課題を解決する」児童の姿が見られるようになった。
- 児童と教師のICT活用スキルが向上した。
- ユニバーサルデザインの視点で学校全体の教室環境を整えることができた。
- ICTの積極的な活用と教材の共有により作業効率が向上し、業務の負担軽減につながった。

研究の課題

- 話合いの中で考えを深め、最適解・納得解を導き出せる力を児童に身に付けさせる。
- 「個別最適な学びと協働的な学び」における、より効果的なICT活用を実践していく。
- ユニバーサルデザインを意識した指導方法を実践していく。



ご清聴ありがとうございました。